



友好の絆を 日中友好「少年少女の翼」に参加

六日間で学んだこと



二戸市立福岡中学校
阿部 真由子

私は、日中友好「少年少女の翼」に参加し、たくさんの方々の貴重な体験をすることができました。中国では、実際に水墨画を描いたり、太極拳の体験もしました。とても難しかったけれど、中国の長い歴史や文化を、体で感じることもできました。また、現地の中学生との交流では、同じ年とは思えない完璧な英語に圧倒されました。しかし、ジュエスチャーを使ったり、メモに書いたりすることで、言葉の

壁を乗り越え、楽しく話をすることができました。

一番印象に残った場所は、万里の長城です。急な坂道や階段は大変だったけれど、上からの景色は、まさに絶景でした。市内観光では、故宮、天安門広場、人民大会堂などを訪れました。どの場所の観光でも、勉強になるようなことがたくさんありました。

中国で味わった、本場の中華料理は、日本で食べる中華料理とは全く違い、とても驚きました。食事のとき、日本では水やお茶が出されるのが一般的ですが、中国で出されたのは、炭酸飲料水でした。それも、一つの場所に限られていて、思いきや、どこのレストランにも炭酸飲料水があり、日本と中国の一般に飲まれる飲料の違いに驚かされました。料理の多さも日本とは違い、皿にどっさり盛り付けられた料理は、みんな食べてもたべきれませんでした。ご飯とスूप

は味が薄く、おかずは味が濃いことで、味のバランスがとれていることも感じました。

この六日間は、あつという間に過ぎていったけれど、とても充実した旅でした。初めは不安で、心配なこともありましたが、けれど、この旅で出会った全国の友達や、リーダーの先生方のおかげで、この旅を、一生に残る思い出にすることができました。

日中友好の旅に関わった、すべての方々に感謝したいです。ありがとうございました。

最高の六日間



盛岡市立北陵中学校
原田 柚希

「少年少女の翼」に参加し、実際に中国の北京に行って文化・言葉の違いをたくさん学び、とてもいい経験をさせてもらいました。

北京の中学校との交流会では、僕たち日本人のことを気遣って英語で話してくれました。話してくれた英語はとても発音が良くペラペラで、中国の中学校のレベルの高さに驚くばかりでした。

またミニゲームやプレゼント交換をして、楽しく交流をすることができました。交流会では言葉が

通じなくても、ジュエスチャーしながら表情豊かに会話をすれば心が通じることを学びました。

市内観光では「鳥の巣」という競技場が一番印象に残っています。外から見ると鳥の巣のようになっているので、穴がたくさんあいていて、この競技場は北京オリンピックを行ったところで、言葉に表せないくらい大きかったです。ここで世界一が決まったと思うと鳥肌が立ちました。

また、ここに来てみると、大それた立派な競技場でした。

この六日間を一緒に行動した四班。最初はみんな緊張してあまり会話がなくて心配になったけれど、時間がたつにつれ、一緒にいて楽しい友達になりました。最後にはみんなで輪になり、一人ひとりがこの六日間の感想と学んだことを話しました。毎日が本当に楽しく、思い出がたくさんできた分、別れる時はとても辛かったです。

しかし、この出会いをたつた六日間で終わりにしないで連絡を取



り合い、また会えると信じてこれからの日々を頑張っていきたいです。

最後になりますが、この経験をこれからの人生に生かしていきたいよう、何度でもこの貴重な時間だった六日間を思い出し、どんな困難も越えていけるように頑張っていきたいです。

第17回家庭教育セミナー開催のお知らせ

テーマ **支え合い つながる喜び 家族の和**

サブテーマ **子どもたちに伝えたい 本当に大切なこと**

《内容》基調講演とパネルディスカッション

	紫波地区セミナー (県PTA研究大会第6分科会)	二戸地区セミナー
開催期日	9月15日(土) 9時30分～	11月10日(土) 13時30分～
会場	矢巾町文化会館「田園ホール」	二戸市民文化会館「中ホール」
基調講演 (依頼予定)	澄川 嘉彦氏 (ハヤチネプロダクション代表)	田口 善政氏 (もりおか啄木・賢治青春館館長)
パネリスト 予定者	漫画家 そのだつくし氏 ・県母親委員長 鈴木祐子氏 ・中央公民館長 高橋セツ子氏	・未来図書館 恒川かおり氏 ・県母親委員長 鈴木祐子氏 ・開催地から

※申込方法 市町村PTA事務局で取りまとめの上、申し込む。